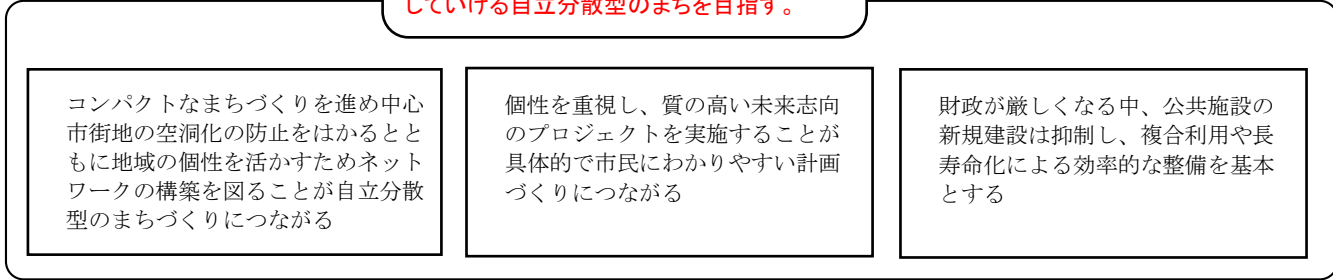


これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点(整理図解) (まちづくりの基本方針の検討材料)

1)とき:2018. 8. 1
2)ところ:市役所
3)データ出所:企画専門委員会資料

自立分散型のまちづくり

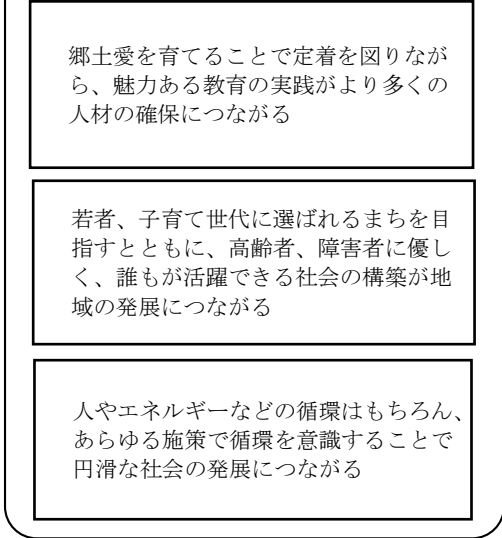
六地域が各々個性や特性を磨くとともに、既存インフラの長寿命化を図りながら、市全体のネットワークを構築して、未来志向で暮らしていける自立分散型のまちを目指す。



地域に誇りと自信を持ち、資源・インフラを長く上手に活用し、前向きにまちに関わり、自立分散型の持続可能なまちづくりを進めます。

人にも環境にもやさしい循環のまちづくり

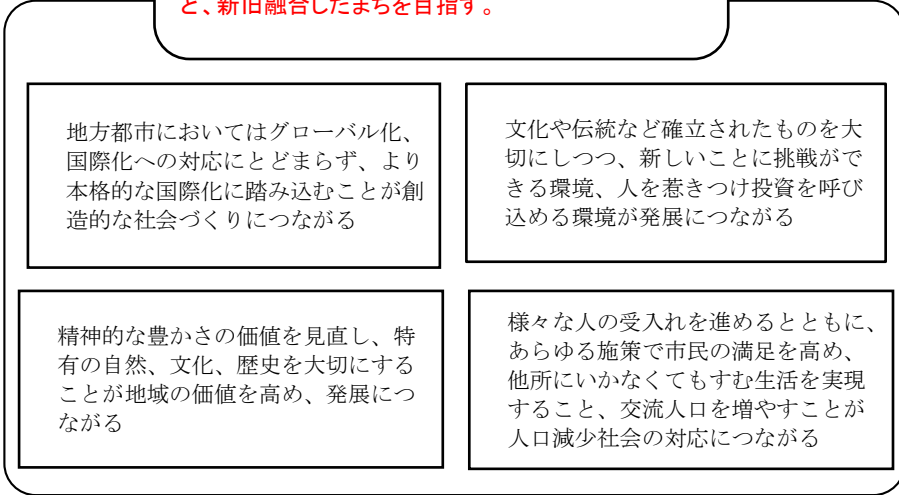
住む人にも訪れる人にも優しいうえに、若者にも魅力的で、誰もがいきいき暮らせて、人が人を呼ぶ、人中心の資源を有効に使う循環のまちを目指す。



ハード・ソフト両面で誰にも暮らしやすく、子育てや教育環境も魅力的で、ひともの・金といった資源を地域発展に上手に活かし切る循環のまちづくりを進めます。

伝統と創造が息づくまちづくり

豊かな精神性に支えられた伝統に加え、本格的な国際化に向けて異文化や移住者とも共生できる寛容さを高めて交流人口も増やし、さらには新たな挑戦でベンチャー企業などの新産業を創出して投資を呼ぶなど、新旧融合したまちを目指す。



精神性や伝統の持ち味に、寛容さやチャレンジ精神を加え、異文化等との交流や新産業創出を促進する伝統と創造の力で、市民満足度の高いまちづくりを進めます。